

士官ども覺しきは余の船の水先となりて案内せり蓋し上官の命を受けて余等を護送するなり其夜は北家と云へる所に一泊せし翌朝に至れば一艘の帆船あり福建の船なりと云ふ前の船と共に余等の船を護り翌日午後一時頃福建の川に入り翌日福建の船なる士官一名と兵士二名余を港に送る風あしくして進まず日没頃漸く達す同夜は既に連し明日役所に届げんと云ひしに明日は直ちに船に歸らざるべからず今夜逃げ出ても士官の勘め切なるに依り余は濡れ衣の儘役所に至れば役員出て懇ろに慰問去且つ同夜は役所に宿せしめ酒食を具へて懇遇去衣を出て着せしめ翌朝に及び一兵士港より馳せ來る余其故を問へば盜賊船に入り一切の物を盗み去れりと手真似にて告げれば余も大に驚き馳せて船に歸らんとせしに役員は暫く待て、盗まれれば仕方なし陸の處分を案すべしと直ちに兵士をして船に在りし船頭二人を喚び來らしめ共に役所に宿せしむ聞くと同夜船頭二人は船中に伏し藪の勢れに前後も覺へず熟睡し居たるを盜賊輩ひ知りて入り來り米も軍需も皆盗み去りしなりと是に於て余は弊衣一領の外、身に着する物もなく孤客天涯誰に依りて活を求めん茫然として殆ど策の出る所を知らざりしが幸ひに去て同地には日本興善堂支店及び常盤洋行(呉服店)「ワッソ」軒(高真屋)あり興善堂支店の小倉錦泰氏は最も義氣に富み余等の窮を憐みて衣服三人分と金三圓及び茶、菓子、手拭、煙草等を贈られ且つ五六回懇應せられたり又た同地の支那領事局長より金二千六圓を與へられ渡浦縣知事も遣く余等の不幸を聞きて金四圓を送致せられたり小倉氏余等の爲め上海領事館に照會する所あり同館よりは直ちに世話して送り致されんことを與ひの回答ありまかば余等は深く其厚意を謝して同所を發せんとす而るに同所よりは支那船にて通商局役員一名附き添ふて護送すべし余の船は賣却しては如何賣却しなば周旋せんとの言に余も此の船に依りて漂流し此の船に依りて難を免れ以て今日に至りしことなれば今に於て之を棄つるは非情の物と雖猶ほ多少の愛惜なきを得ざりしが積きて行くべきにもあらざれば支那官吏に托して之を賣却せしに六圓にて買れたり初めて海上無事上海に歸せしは九月一日と覺ゆ直ちに領事館に届出でしに同館にては余の至るを得つ久しかりしとて之を招き懇切に待遇し同所の日本旅館なる常盤舎に宿せしめたり同月九日横濱丸入港し來りしかば乃ち之れに乗して歸途に就かんとして領事館より金十二圓を與へ日本人の組織せる慈善會より十圓を與へられ且つ常盤舎は余が六日間の宿料を拂はんとするも辭して受けず茶代とて金三圓を授くるが如く與へて許し去りてに食主は船まで追ひ來りて之を慰へしに其れより長崎に安着して縣廳にも届出で船頭一名は長崎より直に鹿兒島に歸らまゆ余は一名の船頭と共三角に渡り船頭は同所より鹿兒島に歸らまゆ余も亦久かた振りに我故郷に歸りて父母親戚の温かなる歡迎を受けぬ今より漂流中の事を追憶するときは茫として夢の如きと雖も醇醇なる時時時に耳底に響くの感なくんばあらす (完)

士官ども覺しきは余の船の水先となりて案内せり蓋し上官の命を受けて余等を護送するなり其夜は北家と云へる所に一泊せし翌朝に至れば一艘の帆船あり福建の船なりと云ふ前の船と共に余等の船を護り翌日午後一時頃福建の川に入り翌日福建の船なる士官一名と兵士二名余を港に送る風あしくして進まず日没頃漸く達す同夜は既に連し明日役所に届げんと云ひしに明日は直ちに船に歸らざるべからず今夜逃げ出ても士官の勘め切なるに依り余は濡れ衣の儘役所に至れば役員出て懇ろに慰問去且つ同夜は役所に宿せしめ酒食を具へて懇遇去衣を出て着せしめ翌朝に及び一兵士港より馳せ來る余其故を問へば盜賊船に入り一切の物を盗み去れりと手真似にて告げれば余も大に驚き馳せて船に歸らんとせしに役員は暫く待て、盗まれれば仕方なし陸の處分を案すべしと直ちに兵士をして船に在りし船頭二人を喚び來らしめ共に役所に宿せしむ聞くと同夜船頭二人は船中に伏し藪の勢れに前後も覺へず熟睡し居たるを盜賊輩ひ知りて入り來り米も軍需も皆盗み去りしなりと是に於て余は弊衣一領の外、身に着する物もなく孤客天涯誰に依りて活を求めん茫然として殆ど策の出る所を知らざりしが幸ひに去て同地には日本興善堂支店及び常盤洋行(呉服店)「ワッソ」軒(高真屋)あり興善堂支店の小倉錦泰氏は最も義氣に富み余等の窮を憐みて衣服三人分と金三圓及び茶、菓子、手拭、煙草等を贈られ且つ五六回懇應せられたり又た同地の支那領事局長より金二千六圓を與へられ渡浦縣知事も遣く余等の不幸を聞きて金四圓を送致せられたり小倉氏余等の爲め上海領事館に照會する所あり同館よりは直ちに世話して送り致されんことを與ひの回答ありまかば余等は深く其厚意を謝して同所を發せんとす而るに同所よりは支那船にて通商局役員一名附き添ふて護送すべし余の船は賣却しては如何賣却しなば周旋せんとの言に余も此の船に依りて漂流し此の船に依りて難を免れ以て今日に至りしことなれば今に於て之を棄つるは非情の物と雖猶ほ多少の愛惜なきを得ざりしが積きて行くべきにもあらざれば支那官吏に托して之を賣却せしに六圓にて買れたり初めて海上無事上海に歸せしは九月一日と覺ゆ直ちに領事館に届出でしに同館にては余の至るを得つ久しかりしとて之を招き懇切に待遇し同所の日本旅館なる常盤舎に宿せしめたり同月九日横濱丸入港し來りしかば乃ち之れに乗して歸途に就かんとして領事館より金十二圓を與へ日本人の組織せる慈善會より十圓を與へられ且つ常盤舎は余が六日間の宿料を拂はんとするも辭して受けず茶代とて金三圓を授くるが如く與へて許し去りてに食主は船まで追ひ來りて之を慰へしに其れより長崎に安着して縣廳にも届出で船頭一名は長崎より直に鹿兒島に歸らまゆ余は一名の船頭と共三角に渡り船頭は同所より鹿兒島に歸

漂流談

承前

三洲港に留まる五日にして年頃六十許りの老翁來り訪ふ同地役所の長なり船積最も至り且つ余の船を見て、之れにては福建まで至らざれば船を捨ててやらんとて工人を召して船の内分収日のペンキを塗らしめたり九日目の夜順風となりしかば同港を出帆せんとせしに五百圓許りの帆船一艘に兵士二十四名士官二名乗り込みて余等の船に前後し一名の下

●漂流談（承前）（※その5最終話）

三洲港に留まる五日にして年頃六十許りの老翁来り訪ふ同地役所の長なり慰藉最も至り且つ余の船を見て、之れにては福建までは至られまじ修復を加へてやらんとて工人を召して船の内外に白のペンキを塗らしめたり九日目の夜順風となりしかば同港を出帆せんとせしに五百噸許りの帆前船一艘に兵士二十四名士官二名乗り込みて余等の船に前後し一名の下士官とも覺しきは余の船の水先となりて案内せり蓋し上官の命を受けて余等を護送するなり其夜は北家と云へる所に一泊し翌朝に至れば一艘の帆前船あり福建の船なりと云ふ前の船と共に余等の船を護り翌日午後一時頃福建の川に入れり翌日福建の船なる士官一名と兵士二名余を港に送る風あしくして進まず日没漸く達す同夜は既に遅し明日役所に届けんと言ひしに明日は直ちに船に帰らざるべからず今夜届け出てよと士官の勧め切なるに依り余は濡れ衣の俣役所に至れば役員出て懇ろに慰問し且つ同夜は役所に宿せしめ酒食を具へて懇遇し衣を出して着せしめぬ翌朝に及び一兵士港より馳せ来る余其故を問へば盜賊船に入り一切の物を盗み去れりと手真似にて告げければ余も大に驚き馳せて船に帰らんとせしに役員は暫く待て、盗まれたれば仕方なし跡の処分を案すべしと直ちに兵士をして船に在りし船頭二人を喚び来らしめ共に役所に宿せしむ聞く同夜船頭二人は船中に伏し昼の勞れに前後も覺へず熟睡し居たるを盜賊窺ひ知りて入り来り米も革函も皆な盗み去りしなりとは是に於て余は弊衣一領の外、身に着する物もなく孤客天涯誰に依りて活を求めん茫然として殆ど策の出る所を知らざりしが幸ひにして同地には日本樂善堂支店及び常盤洋行（呉服店）ドウザン軒（写真屋）あり樂善堂支店の小倉錦泰氏は最も義氣に富み余等の窮を憐みて衣服三人分と金三円及び茶、菓子、手拭、煙草等を贈られ且つ五六回饗応せられたり又同地の支那通商局長より金三十六円を与へられ霞浦県知事も遠く余等の不幸を聞きて金四円を送致せられたり小倉氏余等の為め上海領事館に照会する所あり同館よりは直ちに世話して送り致されんことを望むの回答ありしかば余等は深く其厚意を謝して同所を發せんとするに同所よりは支那船にて通商局役員一名付き添ふて護送すべし余の船は売却しては如何売却しなば周旋せんとの言に余も此の船に依りて漂流し此の船に依りて難を免れ以て今日に至りしことなれば今にして之を棄つるは非情の物と雖猶ほ多少の愛着なきを得ざりしが漕ぎて行くべきにもあらざれば支那官吏に托して之を売却せしに六円にて売れたり斯くて海上無事上海に着せしは九月一日と覺ゆ直ちに領事館に届出でしに同館にては余の至るを待つ久しかりしとて之を招き懇切に待遇し同所の日本旅宿なる常盤舎に宿せしめたり同月九日横浜丸入港し来りしかば乃ち之れに乗して帰途に就かんとせしに領事館よりは金十二円を与へ日本人の組織せる慈善会よりも十円を与へられ且つ常盤舎は余が六日間の宿料を払はんとするも辞して受けず茶代として金三円を投ぐるが如く与へて辞し去りに舎主は船まで追ひ来りて之を返へしぬ其れより長崎に安着して県庁にも届出で船頭一名は長崎より直に鹿兒島に帰らしめ余は一名の船頭と共に三角に渡り船頭は同所より鹿兒島に帰らし

め余も亦た久かた振りに我故郷に帰りて父母親戚の温かなる歓迎を受けぬ今より漂流中の事を追懐するときには茫として夢の如しと雖も鞞鞞たる涛声時に耳底に響くの感なくんばあらず (完)